

ダイバーシティセミナー

『LGBTとは トランスジェンダーの学生への支援について』を開催しました

6月21日(木)に、岡山大学大学院保健学研究科の中塚幹也教授をお迎えし、ダイバーシティセミナー『LGBTとは トランスジェンダーの学生への支援について』を開催しました。

中塚先生は、産婦人科医で、GID（性同一性障害）学会の理事長であり、本分野における第一人者です。本学にも在籍していると考えられるLGBT（性マイノリティ）、中でもトランスジェンダーの学生への対応方法やどのような支援が必要なのかについて、お話いただきました。

セミナーは、テレビ番組に登場したキャラクターの話から始まり、LGBTについての現状や海外の動向、学校での対応状況などをお話頂きました。特に性指向と性自認の違いについては、例をいくつかあげて、受講者に「性指向」か「性自認」かを質問される場面もありました。

受講者からは、「LGBTの状況について、歴史的に、法的に、また文科省等の取組みも含めて知ることができた」「具体的に例を示しながらの説明で分かりやすく、具体的にどのような取組が必要なのか、イメージしやすかった」との感想が寄せられました。

